

Sky High

2020/6/30

3年生諸君へ「檄」



いよいよ7月に入り、令和2年もあと半分となりました。これまで部活動に所属していた人もいよいよ「受験モード」に切り替えているはずです。総合型入試（旧AO入試）を考えている人は入試要項を取り寄せて願書の書き方の指導を受け始めました。推薦型入試を考えている人は推薦を受けたい大学を絞り込み、入試に向けた準備を始めています。一般型入試の人は志望校の絞り込みをし、寝る間も惜しんで受験勉強に励んでいると思います。

さて、「マクドナルド」は世界的に有名なハンバーガーショップです。行ったことがある人も多いと思います。この「マクドナルド」は、アメリカのマクドナルド兄弟が始めたチェーン店です。最初始めたころのこのチェーン店はうまくいかずに、「レイ・A・クロック」という人が買い取り、この人が苦労を重ね、約30年間の工夫、苦労の甲斐あって、世界中120か国を超す国々にハンバーガーチェーン店ができるようになったそうです。そのクロックという人が、マクドナルドのハンバーガーショップを買い取るとき、「生きるか死ぬかの選択だった。」と言っています。このマクドナルドで失敗したら、自分はもう行くところがなかったわけです。人間、死ぬ気で頑張るとどうかなる、不可能を可能にするということを現実のものとしてくれたのが、このレイ・A・クロックのマクドナルドです。人間、土壇場になると、その持つ能力は大きなものとなるのです。

最近の若い人の中には、「もし就職がうまく決まらなくても親がしばらく食べさせてくれる」とか、「就職に失敗したらフリーターやアルバイトをしていけば、当面の生活費に困らない」という甘い考えを持った人が多くなってきているように感じます。みなさんのお父さん、お母さんの世代では、「就職できなければ生活できないから、何が何でも就職しなければ」という気持ちを持っている人が多かったようです。

進学の場合も同様です。30年前のような、受験生が多くて大学の数が限られていたころは、大学自体に入ることが必死な時代でした。現在は大学を選ばなければほぼ全員が合格できる時代となりました。とは言っても、大学ならばどこでもよいという考えを持っている人はいないはずです。偏差値や知名度の高い低いとか、国立か私立かということではなく、自分の将来を託すことができる大学、自分が本当に勉強したいことが学べる大学、夢にまで見るくらい進学したい大学に行きたいはずです。そのためには、全国各地のライバルよりも多く、深く勉強していかなければなりません。3年生では模擬試験が毎月行われますが、現時点で第1志望校の目標ラインまで達している人はわずかです。最後の最後の入試まで全力を出して、栄冠を勝ち取ってほしいと思います。

一般型入試の志望校の設定のしかた

一般型入試を受験する人は、複数の大学を併願することになります。受験校が多ければ受験にも慣れたり合格の可能性が高まったりします。しかし、1つの入試を受けるのに受験料が3万円前後必要となります。受験会場が離れていれば、交通費や宿泊費もかかります。そのようなことから、一般型入試を受験する場合には、平均して6校前後に絞って受験します。

同じレベルの大学ばかり受験してもすべて不合格となったり、さらに上位のレベルの大学にも挑戦できたのに受験しなかったりということが起きます。そこで、ボーダーライン校を2校、安全確実校を最低1校、挑戦校を1校、さらにそれらの間に位置する学校を1校ずつと、レベルを変えて志望校を決定していきます。入試直前になったら正式に受験校を決定しますが、急に安全確実校を考えることはできないので、今のうちから考えておいてほしいと思います。「今年受験に失敗しても浪人して合格していくから、安全確実校は一切考えない」という人が時々いますが、浪人生は、周囲の友人が大学のキャンパスライフを楽しんでいる中で、盆も正月もなく黙々と受験勉強しなければなりません。浪人して1年間予備校に通うと成績が伸びると思いがちですが、そういう人は限られた人です。途中で挫折して予備校にも通わなくなったり、浪人することによって後戻りできなくなってより高い目標校に入らなければならないというノルマを自身にかけてしまったりして挫折する人も多いのです。みなさんの将来について真剣に考え、担任は、今回の面談では心を鬼にして現実的なお話をしていくこともあるかもしれません。

自分の目標校は、全力で頑張れば手の届きそうなところにあるのならば下げる必要はありません。前述したレイ・A・ロック氏のような「生きるか死ぬか」という瀬戸際に置かれたときのような努力をして夢を実現してほしいと思います。しかし、入試には魔物が存在すると言います。人生で経験したこともないくらいの緊張の中で実力を出さなければなりません。そのためにも安心できる保険としての学校も考えていく必要があります。7月下旬に予定されている三者面談の前に、保護者の方とこの点についても十分に話し合ってください。

一般型入試の志望校決定のしかた（参考例）			
A	挑戦校・目標校	3年次の模擬試験の最高偏差値	1校ぐらい
B	ボーダーライン+ α 校	AとCの間	1校ぐらい
C	ボーダーライン校	3年次の模擬試験の平均偏差値	2校ぐらい
D	ボーダーライン- α 校	CとEの間	1校ぐらい
E	安全・確実校	3年次の模擬試験の最低偏差値	1校以上

※現時点ではAやBは多くても構いません。ただし、C～Eについても考えていく必要があります。

3年生が7・8月に取り組むべきこと

今年は休校による授業日数不足から夏休みが短縮となり、夏期講習や模擬試験も入れると、3年生は実質8日間の夏休みとなります。例年、3年生は夏期講習がお盆近くまで行われ、お盆が明けると学校が始まっていたので、夏休みが短くなったという実感はないと思います。いずれにしてもこの7、8月の過ごし方によって、今後の学力、進路選択、人生が変わってしまうと思います。そこで、この時期に行ってほしいことを述べたいと思います。

① 基礎学力の定着

後期に入ると授業も演習中心になり、問題に慣れながら勉強していく時期を迎えます。そのときに、1年生から3年生前期までの基礎力がなければ、壁にぶつかってしまいます。そのために、夏休みにはこれまで学習したことをきちんと押さえ直す学習を行ってください。そのとき、新たな問題集や参考書を購入するのではなく、学校から与えられた問題集、教科書、副教材を用いることが重要です。

時々、学校から与えられたものをきちんと消化せずに、自分で購入した参考書や問題集ばかり勉強する人を見かけます。余力のある人が行うのは、何ら問題はないのですが、基礎力が身についていない人が行うと、穴だらけの勉強に陥ってしまいます。学校で与えている教科書や教材は、各教科の先生方が本校の生徒に最も合ったもので、受験対策として最良と考えたものなのです。

朝テストも同様です。朝テストや授業、夏期講習をまじめに受けている人は、基礎力が定着します。馬鹿にして怠けている人は成績が伸びません。ひとつひとつのことに全力で取り組むようにしましょう。世の中の受験生や、今後、最大のライバルとなる浪人生は、朝から午後まで夏期講習などに参加し、下校してから夜遅くまで家庭学習をしています。「僕・わたしは、クラスの中では勉強している方だから、何とかやるさ。」と得意になっている人！「井の中の蛙」とならないようにしましょう。

短い夏休みですが、この期間の家庭学習の目安は、「学年+2時間」ではなく、24時間から睡眠時間（7～8時間）・食事・入浴時間・小休憩時間（3～4時間時間）を引いた時間です。ということは、夏休み中は、1日12時間勉強するのが当然だということになりますね。

② 面接の練習（該当者のみ）

今年は、専門学校は早いところで7月から、総合型入試の人は9月中旬から、就職の人は10月から、学校推薦型入試の人は11月から入試や採用試験が始まります。これらの試験を受ける人にとって、面接試験は避けては通れないものとなっています。6月18日の合同LHRで配付した『面接トレーニングペーパー』を参考にして自分の答えをノートなどに書き、まずは暗記するまで繰り返し覚えましょう。実際の場面では、書いたことを丸暗記して言おうとすると、棒読み状態になったり、どこか忘れてしまう部分が生じると言葉が詰まってしまうという現象に陥ったりします。そこで、書いたことをもとに自分の言葉で話すように答える練習をしていきましょう。その後、ご家族の方や友だちに面接官になっていただいて練習しましょう。合同LHRで習ったことをもとに、ドアの開閉、椅子の掛け方、姿勢、挨拶、声の出し方、敬語の使い方にも気をつけましょう。ここまでできたら担任の先生と面接練習をし、その後、3学年の先生、進路指導部の先生、教科の先生などに面接の練習をお願いしてみてください。職員室には十人十色の先生方がいて、指導方法も十人十色です。しかし、みなさんを合格に導くという点では共通しています。ただし、先生方も予定が詰まっていますから、事前にアポイントメントを取ることを忘れないようにしてください。

③ 小論文・作文の勉強（該当者のみ）

面接試験に続いて多いのが、小論文試験です。昨年度よりも小論文を課す大学が増え、配点も高くなる傾向があります。専門学校進学や就職の場合は作文、大学進学の場合は小論文が出題されることが多いです。小論文にしても作文にしても自己満足、自画自賛、自信過剰、自己流は禁物です。自分ひとりだけで勉強しても力は付きません。7月上旬のうちに、国語科の先生のところへ個人指導を申し込んでください。試験の直前（1か月前など）になってから個人指導を申し込むようなことがないようにしてください。合格できる小論文に仕上げるまでには最低3か月かかるので、手遅れにならないようにしましょう。

④ 制服の準備

進学希望者も就職希望者も、試験当日の服装は制服です。男子生徒は、ブレザー、ワイシャツ、スラックス、ネクタイを確認しておきましょう。女子生徒は、ボレロ、ブラウス、冬用スカート、リボンを確認しておきましょう。サイズはもちろんのこと、ボタン、汚れ、染み、においもチェックしておきましょう。制服を見れば普段の着方やその人の性格まで分かっていわれています。普段、腰パン（ズボンを下げ気味に履くスタイル）をしている形跡がある男子、スカート丈が膝より上まで短くしている形跡がある女子は、真っ先に落とされます。以前、優秀な女子生徒が立て続けに女子大学を不合格になったことがありました。彼女はある大学の女性の先生に、「あなたのスカート短いわよ。」と言われたそうです。他の生徒と比べても、特別に短くしていたわけではないのに、試験管はきちんと見ているのですね。また、汚れやにおいがあれば、不潔な人と判断されます。今のうちにクリーニングに出しておきましょう。

それから、忘れがちなのが指定革靴と指定かばんです。靴をつぶして履いていたのでは、「私を落としてください!」と言っているのと同じです。磨かれた靴をきちんとした履き方をしていれば好印象につながります。変形かばん（かばんの中敷きを外して薄くしているもの）の場合、教材を自宅に持ち帰らない人、普段、勉強する習慣のない人と判断されます。新たに購入する場合、購買部に注文することになりますが、発注してから届くまでに時間がかかるので、今のうちに保護者の方といっしょに点検しておきましょう。

SERIES③「学生時代の私」菅野 千春

このタイトルで文章を書いてくださいと言われ、さてと…。私の学生時代って何だろう、と考えてみたものの、特にこれといって華々しい賞を受けた経験もなく、輝かしい業績があるわけでもなく、途方に暮れてしまった。本当に何もない学生時代だったのか、いや、それは自分が認めたくない点なのだが、どうやらいくら考えても浮かんでこないようだ。

小学校時代は、父の仕事が転勤族だったために、小学6年生の時に福島市内から少し遠方に一家転住をした。今思うと、車でも簡単にアクセスできる距離ではあったのだが、当時の自分はまだ小学生だったので、バスで行くとなるとかなりの時間を要する気がした。しかも、友達や知り合いも誰一人いなかったので、心理的にも心細く感じた。実は、小5の時に想いを寄せる女子と物理的に離れるのが残念であった。もちろん先方は何とも思っていなかったが。

ようやくのことで1日が終わるかという時に、事件は起こった。いや、今思えば普通のことなのかもしれないが。階段を降りる途中で、転校したクラスの同級生が2人近づいて来た。「いよー、俺〇〇（自己紹介）。俺は〇〇（もう1人が名乗る）。よろしくな!」「は、はい。」この後にも会話が続いたはずだったが、よく覚えていない。自分はすっかり恐怖のあまりにフリーズしてしまったようだ。

とんでもないクラスに転校してしまったと最初は思っていたが、今でも忘れられない出来事があり、昼食の前に全員で手を洗う場で手を洗った後、さてどうやって手を拭こうかと迷っていると、すかさず「これをどうぞ♥」とハンカチを差し出してくれた女子がいた。同じクラスの子だった。人生においてこんなことが起こり得るのか!と密かに思った。その後の話は省略する。

福島四中に入学し、中3の時に木造校舎の母校が燃えた。確かな記憶ではないが、夜分に緊急連絡網で母校が燃えているとの連絡があった。翌朝登校してみると自分の学校が焼失していた。本当になくなっていた…。大切な私物もすべて燃えた。いやそれよりむしろ受験生としての調査書も消えてなくなった。当時の担任や学校長からは、とにかく頑張るしかないという話があるだけで、確かにそれしか道はなかった。

to be continued…

（3学年副担任・英語科）

▼6月25日、進学講演会で気持ちを新たにする3年生。



7・8月の行事・予定

7/10（金）	漢字検定（申込者・放課後） ※総合型入試、推薦型入試で調査書に記載される漢字検定は、今回が最後です。全力で臨んでください。
11（土）	土曜授業（木曜日の1～5・7校時の授業、6校時は放送による生徒会総会）
15（水）	前期模擬試験代金納入期限
18（土）	土曜授業（火曜日の授業と、GTECを実施）
20（月）	三者面談期間開始
20（月）～ 22（水）	前期中間考査 ※推薦型入試・総合型入試の各校の評定基準をクリアしていないと出願できなくなります。評定平均値を意識して、1点でも多く取れるように頑張りましょう。
23（木）	海の日（祝日）
24（金）	スポーツの日（祝日）
31（金）	全校集会・大掃除（1～4校時授業、5校時全校集会、6校時大掃除）
8/1（土）	学福オープンスクール①（中学3年生とその保護者の方対象） ※一般生徒は登校禁止
3（月） ～7（金）	夏期講習（理科・社会）
7（金） ～8（土）	全統模擬試験（国公立大学・中堅以上の私立大学受験を希望する者） ※推薦判定や冬期三者面談の資料の一部になります。申し込んだ生徒は欠席・遅刻・早退しないこと。
17（月）	全校集会②・一斉指導②・授業開始・ 学校推薦型入試（指定校・公募）希望者の「推薦入学試験受験希望願」提出日
23（日）	英検二次試験（該当者）※総合型、推薦型入試の調査書に記載される英検は、今回が最後です。
27（木）	WORD CUP（6校時）

※上記のものはあくまで現時点での予定です。新型コロナウイルス感染状況などにより、行事・日程が変更になることがあります。緊急連絡は学校からの安心メールで送信いたします。
※学校からの書類の締め切りには、進路に関する大切なものも含まれています。特に、願書や推薦申し込みなど、提出期限を過ぎると出願や申し込みができなくなるものもあります。学校からの文書を保護者の方に渡すよう学校でも指導していますが、保護者の方もお子さんの持ち帰る文書に注意していただければと思います。不明な点があれば、学校までお電話ください。



▲3年生全員がこんなふうに花開きますように。

保護者の皆様へ

6月25日には「進学講演会」が行われました。また、平日のお忙しい中、半数以上の保護者の方に来校いただき、誠にありがとうございました。ベネッセコーポレーションで福島県を担当されている高橋志拓先生をお招きし、今年度の大きな入試改革のポイント、近年の受験の傾向、今後のスケジュールや学習の取り組み方など、丁寧にお話していただきました。最後に、「安易に志望を下げない」「合格を勝ち取るために我慢すべきものを我慢する」というメッセージを3年生諸君に送っていただきました。

感染症に対する恐怖、不安、焦りなどで、受験勉強に十分に組み立てていない高校3年生が全国的に出ていると言われています。本校の3年生もモチベーションが下がってしまったり、焦りを抱いたり、志望分野が大きく変わってしまったりしている生徒もいました。しかし、学校が再開され、次第に落ち着いてきたと思われます。

7月下旬には三者面談を実施します。事前にご家庭で十分なる話し合いをしていただき、本人と保護者の方が納得できる希望をお持ちいただきたいと思います。学校では担任がお子さんの興味関心、適性、能力を冷静に分析して受験先のアドバイスをしていきます。お子さんが合格できるかどうかの判断も大切ですが、進学した先で、進級できない、卒業できないという事態になることは避けたいと考えております。今回は本人の意志も大切にしながらも、現実的なお話もさせていただきたいと思います。

福島にはこれから日本一の暑さがやってきます。今年はお子さんにとっても暑い（熱い）夏になりそうです。保護者の方の栄養たっぷりのお料理と、愛情たっぷりの激励で、お子さんを元気にしてあげてください。